

巻頭言

今こそ 産学官連携のとき



埼玉県産業労働部長

加藤 和男

Kato Kazuo

つにする事が急務」だと記しています。これを実践し、経済発展と社会課題解決の両立を具現化する有効な手段の一つが「産学官連携」と考えます。

県ではこれまで「先端産業創造プロジェクト」を実施してきました。今年度は、このプロジェクトの中で、新たに、県内企業、県内大学、行政等が一丸となって、社会課題の解決を目指すオープンイノベーション支援事業を実施してまいります。これは、大学の研究成果を活用して、地域社会の課題解決や持続性の高いビジネス展開を目指すもので、それぞれのプレーヤーが得意分野を生かし、新たなイノベーションを創出しようとするものです。

また、産学官連携をサポートするAIを活用した製品開発についても、県として積極的に支援してまいります。

企業が競争に勝ち残っていくためには、専門的技術や斬新なアイデアを組み合わせ、スピード感あるビジネス展開を行うことが求められています。こうしたことから、企業単体ではイノベーションを実現していくことが困難な時代になっています。知の継承・創造を行う大学と成果を世に出していく産業、その架け橋となる埼玉県がスクラムを組み、ワンチームとなって取り組んでいく必要があると考えます。

今こそ産・学・官が一体となって連携し、地域の社会課題の解決に取り組むときです。埼玉大学産学官連携協議会が核となり、本県の地域産業の一層の発展に大きく寄与されますことを期待しています。

令 和という新たな時代が刻まれる中、経済、世界情勢は大きく、そして急速に変化しています。高齢社会の進展に伴い、高齢者の移動手段を確保し、自ら運転する場合にも事故を防止してくれる自動運転モビリティや、質の高い介護や見守りが可能な遠隔操作ロボットなど、AIや5Gを活用した新たな製品やサービスが社会から求められています。まさに、時代はSociety5.0の新たな時代に確実に移行しつつあります。

一方、500社余りの企業の設立に関わり日本を代表する企業を多数生み出した「日本近代資本主義の父」渋沢栄一翁は、著書「論語と算盤」の中で、「論語と算盤というかけ離れたものを一

CONTENTS >>>

- 01 巻頭言
- 02 活動報告「第20回埼玉大学産学交流会テクノカフェ」
- 04 活動報告「学内合同企業説明会」
- 05 活動報告「3D-CAD&3Dプリンター研修」「彩の国ビジネスアリーナ2020」
- 06 活動報告 防災ビジネス研究会、アブラヤシバイオマス活用研究会、AI時代の画像処理技術研究会
- 07 活動報告 創エネ・蓄エネ技術研究会、AI活用研究会
- 08 会員企業訪問記「株式会社井口一世」「株式会社デジタルベリー」
- 10 新会員紹介
- 12 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

>> 活動報告

Report

01

第20回 埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催

埼玉大学産学官連携協議会では、2019年10月29日(火) 埼玉大学産学交流会テクノカフェ(共催:埼玉大学)を開催しました。協議会会員企業・団体の他、会員外企業・団体、学内教職員、学生等、144名の方に参加いただきました。

埼玉大学は2019年に創立70周年を迎え「つなげよう未来へ」のキャッチフレーズのもと、地域に根差した大学として更なる発展を目指しています。埼玉大学産学官連携協議会も2020年7月の設立20周年を目前に、産・官・学の交流の懸け橋として、皆様を「つなぐ」役割を果たすべく、諸活動を行っております。



主催者挨拶(上條会長)

今回のテクノカフェは、埼玉大学産学官連携協議会上條会長の主催者挨拶に続いて、第1部 大学研究シーズのご紹介・ポスターセッション、第2部の講演会、第3部に交流会(懇親会)というプログラムで実施いたしました。

第1部の大学研究シーズのご紹介では、埼玉大学大学院理工学研究科の8教員から、最新研究成果等の事例発表がありました。各研究について、ごく短時間ではありますがわかりやす



研究成果等事例発表(大学院理工学研究科/8教員)

い説明をいただき、多岐に渡る大学の研究内容が紹介されました。参加者アンケートにも、“関連分野や新規事業領域となりそうなテーマが聞けた”“非常に興味深く、詳細を聞きたいシーズがあった”とのご意見をいただいております。



コーヒーブレイク

コーヒーブレイクは、参加者との交流を深めるため、昨年同様長めの時間を取りました。展示ホールにおいて、大学教員のポスター展示及び解説、新会員企業・団体の紹介、埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)の紹介、埼玉大学科学分析支援センターの紹介、協議会研究会の紹介等を行いました。なかでも前半の事例発表に登壇した教員のポスター展示では、参加者からの質問が寄せられ、より詳細な解説を行う様子が見受けられました。



ポスター解説

第2部の講演会では、未来志向のSDGsの取り組みや会員企業による産学連携事例の紹介、「埼玉大学研究マップ」の紹介を実施しました。SDGs関連講演では、埼玉県企画財政部計

SDGs関連講演
(埼玉県/坂田様)SDGs関連講演
(さいたま市/有山様)

画調整課長 坂田直人氏から「埼玉版SDGsの推進に向けて」、さいたま市都市戦略本部 未来都市推進部主査 有山信之氏から「人と人を絆でつなぐ『スマートシティさいたまモデル』」と題して、埼玉県とさいたま市のSDGs関連施策や具体的な取り組み例についてご紹介いただきました。この2講演には、参加者から“埼玉県やさいたま市の動向・取り組みが良く理解できた”“社内事業の参考にしたい”といった声が寄せられました。

続いて、株式会社ベルニクス 開発部 次長 大森浩史氏/総務部主任 長谷川伸氏から「スモールモビリティ、電動アシスト自転車用非接触給電技術の開発」、株式会社朝日ラバー 取

産学官連携事例紹介
(株)ベルニクス/大森様・長谷川様産学官連携事例紹介
(株)朝日ラバー/田崎様産学官連携事例紹介
(株)旭製作所/飯島様



産学官連携事例紹介
信越ポリマー(株) / 鈴木様

締役・管理本部長 田崎益次氏から「サポインによる視認性が良く疲れにくいLED照明光の開発」、株式会社旭

製作所 容器技術部 部長代理 飯島孝文氏から「産学官連携事例・株式会社旭製作所の取組み」、信越ポリマー株式会社 開発本部 開発第四部 部長 鈴木秀樹氏から「埼玉大学との共同研究成果のご紹介(レーザによる新たな加工技術の創出)」と題し、それぞれの共同研究や外部資金獲得に向けた産学官連携事例を4件ご紹介いただきました。会員企業と大学間で実際に産学連携が実を結んだケースのご紹介とあって、参加者からは「具体的にイメージしやすく参考になった」「取り組み方等、自社にも反映したい」とのご感想をいただきました。



講演会場

最後に、創立70周年を記念して発刊した「埼玉大学研究マップ」について、伊藤修理事・副学長よりご紹介



埼玉大学研究マップ紹介
(伊藤理事)

いたしました。研究者を総覧できる資料として、是非ご活用いただきたい旨のご案内がありました。

第3部交流会には、100名を超える参加がありました。最初に講演者や事例発表者の紹介を行ったのち、山口宏樹学長から、70周年を契機とし

て産学官連携に一層努め、地域活性化の一翼を担っていきたいこと、埼玉大学産学官連携協議会活動に大きく



交流会挨拶
(埼玉大学 / 山口学長)

期待する旨の挨拶がありました。参加の皆様には、創立70周年を記念し会員企業のCOEDOブリュワリー(株式会社協同商事)とのコラボレーションで生まれた記念のエールビールを楽しみながら、活発に交流いただきました。



交流会

産学交流会テクノカフェは、今後も内容を一層充実し開催してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしています。



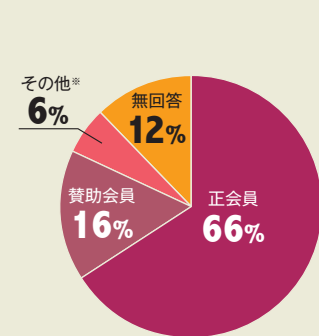
COEDO×埼玉大学
「埼玉大学創立70周年
アニバーサリーエール」

学内教員研究成果等の事例発表 埼玉大学理工学研究科 8教員(発表順)

最新の磁気浮上技術	水野 毅 教授
高齢者を支援するロボット買い物カート	小林 貴訓 准教授
機械のなめらかな運動を実現するための計測技術と設計技術	田所 千治 准教授
ポリイミドフィルムの溶着と宇宙機への展開	山口 大介 助教
IT・AI技術に関する研究会活動と共同研究事例	小室 孝 教授
化学センサーへの応用を目指した各種セラミックスの紹介	柳瀬 郁夫 准教授
多価化による高感度化、高性能化	松下 隆彦 助教
嗅覚メカニズムから樹木とお酒の香りの特徴を探る	長谷川 登志夫 准教授

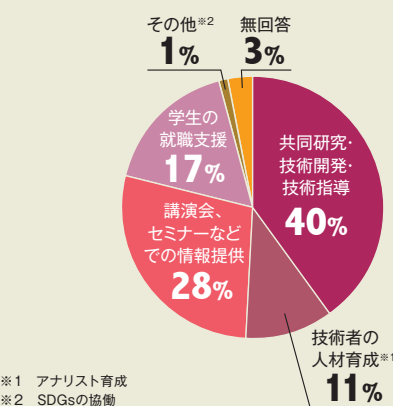
参加者アンケートより

Q1 会員種別についてお教えてください。



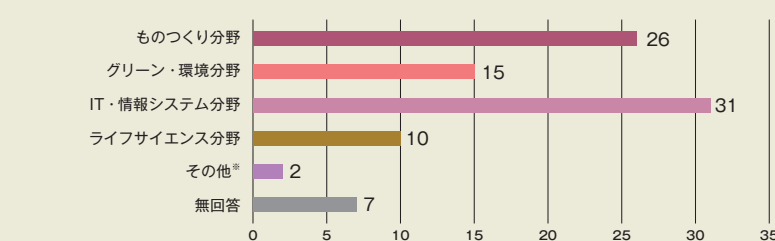
*共同研究企業、他大学ほか

Q2 大学との連携に何を求めますか、期待されますか。(あてはまるものすべて)



*1 アナリスト育成
*2 SDGsの協働

Q3 研究会活動について、今後どのような分野の研究会があれば参画したいと思いませんか。(あてはまるものすべて)



*保険、リスクコントロール
ISO26000、ESG、SDGs、UNGC

>> 活動報告

Report

02

「埼玉大学学内合同企業説明会」を実施

2021年3月卒業(修了)予定の学生を対象とした学内合同企業説明会(主催:埼玉大学統合キャリアセンターSU)が、2020年3月1日(日)~5日(木)の5日間にわたり開催されました。この説明会は学生へ業界・企業研究の機会を提供するもので、本協議会においては会員企業の人材確保支援事業と位置付けています。

近年、参加希望企業の増加に伴い、枠の関係上お断りせざるを得ない状況もありますが、会員企業は必ずご参加いただけます。また、運営を専門業者(株式会社サイード)に委託することにより、参加費用について一律有料となりましたが、会員企業特典として3万円の値引を継続実施しております。

今回の合同企業説明会については、新型コロナウイルス感染症の拡大により多大なる影響を受けました。会場では感染予防と流行拡大防止のため、消毒液の使用やマスク着用の励行、常時換気等の対策を実施したうえで開催いたしました。



ブース風景

当初は全体参加企業数360社を予定しておりましたが、113社がキャンセルとなり、全体では247社の参加となりました。会員企業からも当初予定の72社中、18社のキャンセルがあり、54社にご参加いただきました。会員企業54社に対し、のべ519名の学生が参加しました。期間中は天候の状況や、企業キャンセルが相次いだため、学生の参加が少ない日もありましたが、各ブースでは、担当者からの説明に熱心に耳を傾けたり、この機会を有効活用するべく積極的に質問をする姿が見られました。

れました。

3月5日(木)の説明会については、「初期配属予定地が埼玉県内である企業」を中心に開催するという新しい試みも行われ、県内会員企業や地元志向の学生にとっては、よりマッチングの機会が増えたケースもあるのではないかと推察されます。

企業にとって人材確保の重要性が増している現状を踏まえ、今後とも学生・企業の双方に有益な場となるよう目指してまいります。



ブース風景

説明会参加申込企業72社

50音順

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	アイオン株式会社	株式会社愛工舎製作所
株式会社アイネット	株式会社朝日ラバー	株式会社 ADEKA ライフサイエンス材料研究所
株式会社アドテックス	株式会社新井機械製作所	株式会社井口一世
株式会社ウェルディングアロイズ・ジャパン	株式会社エイチワン	AGS 株式会社
株式会社エヌ・ワイ・ケイ	エレクス株式会社	オーセブン株式会社
株式会社オプティム	株式会社オリジン	株式会社川金コアテック
関東クリコ株式会社	株式会社きもと	コージンバイオ株式会社
株式会社小金井精機製作所	コンビ株式会社	株式会社サイサン
埼玉縣信用金庫	埼玉ゴム工業株式会社	株式会社埼玉りそな銀行
三共木工株式会社	サンケン電気株式会社	シグマトロン株式会社
株式会社システムインテグレイター	株式会社芝浦電子	株式会社翔栄
信越ポリマー株式会社	新日本無線株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
大成ラミック株式会社	太平洋セメント株式会社	株式会社タカインフォテックノ
株式会社高脳基礎工事	株式会社タムロン	株式会社橋本チエイン
ティ・エス テック株式会社	株式会社 T&K TOKA	株式会社デザインネットワーク
トキタ種苗株式会社	NITTOKU 株式会社	株式会社日本政策金融公庫
日本ピストリング株式会社	日本アンテナ株式会社	日本信号株式会社
パシフィックシステム株式会社	早坂理工株式会社	東日本電信電話株式会社 埼玉事業部
東日本メディコム株式会社	株式会社ビットマイスター	株式会社フコク
武州ガス株式会社	株式会社ベルニクス	ボーライト株式会社
株式会社前澤エンジニアリングサービス	前澤工業株式会社 埼玉製造所	株式会社マズダックマシナリー
株式会社松永建設	マレリ株式会社	ミツイワ情報株式会社
武蔵オプティカルシステム株式会社	株式会社武蔵野	株式会社武蔵野銀行
株式会社モリタ東京製作所	株式会社リケン	理研計器株式会社



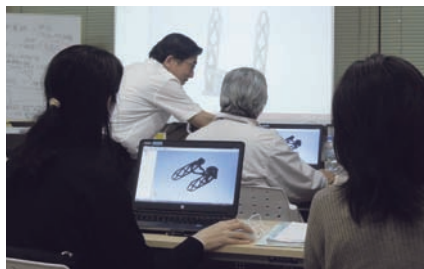
Report

03

「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

2019年度も「3D-CAD&3Dプリンター無料研修」を、さいたま市と連携し「高度ものづくり人材育成支援業務」として実施しました。5コースの研修を計20回開催し、実人数で64名、延べで126名の方々に受講いただきました。受講者の業種は、機械だけでなく電気・電子、化学、建築・土木、情報・CAD、医療及びデザイン関係と広い範囲におよびました。

本研修では3D-CADとして、無償体験が可能なFusion360とミッドレンジのSolidworksを使用し、昨年と同じくFusion360の入門、実用及び応用のコースを、Solidworksは入門コースを各4回設けました。本年度は、新規に3D合成アプリ体験コースを4回設け、画像合成ソフト



研修風景

による3Dデータ作成の研修を行いました。入門コースと実用コースでは、3D-CADによる基本的な3Dモデル作成から電子筐体の設計の研修を行いました。応用コースでは、CAE機能としてFEM及びトポロジー最適化を取り上げるとともに、CAM機能によるNC加工機用データ作成も行いました。各コースでは、CAD操作だけでなく、異なるCAD間で互換性のあるデータへの変換方法、3Dプリンターで使用するデータ

作成法も取り上げました。

本研修を受講された方には、個別対応として、3Dプリンター導入に関する相談や有限要素法(FEM)解析の相談等も行いました。各コースの研修は、講師の方々が受講者のレベルや進捗に応じた柔軟な対応をするとともに、質問にも的確に回答することで、高い満足度を頂きました。

また2020年1月27日(月)に7名の受講者による、3D研修活用事例報告会を開催し、その後の交流会では、活発な意見交換が行われ、盛況をもって終了しました。



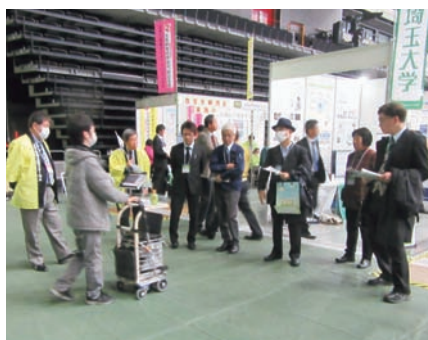
活用事例報告会

Report

04

「彩の国ビジネスアリーナ2020」に出展

2020年1月29日(水)～30日(木)さいたまスーパーアリーナにて開催された「彩の国ビジネスアリーナ2020」(主催:埼玉県、公益財団



法人埼玉県産業振興公社ほか)に出展しました。このイベントは、様々な分野の企業・団体が参加する、国内最大級の展示商談会として年々広まり、今年は2日間で製造業を中心とした幅広い業種から17,603人の方々が来場しました。

埼玉大学からは、大学院理工学研究科 小林貴訓准教授の研究成果「高齢者を支援するロボット買い物カート」を中心に、大学のシーズをPRしました。実機によるデモンスト

レーションを交えながらの紹介に、足を止めて説明を聞いたり、名刺交換とともに研究内容について質問する来訪者の姿も見られ、今後の発展が期待されます。



>> 活動報告

Report

05

「埼玉大学産学官連携協議会研究会報告」

防災ビジネス研究会

代表：藤池 一誠(株式会社デサン・代表取締役社長) 事務局：田中 雅人(産学官連携コーディネーター)、山田 涼子

防災ビジネス研究会(会員企業11社、学内教職員4名)は、2019年度第2回研究会を9月17日(火)に埼玉大学にて開催しました。

第2回研究会では、常設デジタルサイネージを利用した避難誘導システム開発状況について、実機を用いて表示コンテンツのデモンストレーションを行い改善点等について協議を行いました。

11月3日(日)には、埼玉大学学園



むつめ祭出店

祭「むつめ祭」へ2年ぶりに出店し、サイネージを使った防災クイズや工作コーナーを設け、こどもや保護者

を中心に324名と大変多くの来場者がありました。10月の台風19号により近隣でも浸水被害が相次いだことから、来場者の関心は非常に高く、用意したハザードマップが昼過ぎには配布終了となるなど、防災意識醸成に貢献することが出来ました。また、アンケートにもこれまでになく多数の回答をいただきました。地域や年代等のデータを分析しつつ、今後の活動に活かしていく予定です。

アブラヤシバイオマス利活用研究会

代表：高木 優(グリーンバイオ研究センター長・教授) 事務局：大久保 俊彦(産学官連携シニアコーディネーター)、日下 明美

第1回研究会において決定したSATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)挑戦活動として、研究開発が進行中ではあるものの、申請活動上の問題点を明らかにするために2019年度の申請に取り組みました。

SATREPSの公募が2019年9月10日(応募締切：ODAは10月28日、日本側は11月11日)開始され、本研究会第2回研究会を翌日9月11日に開催し、申請方針を策定しました。具体的には、①アブラヤシという植物自体へアプローチし、より有用性ある器質への改変による収量増大や

地球環境及び労働環境改善、省エネ・低コストにつながる自然由来の技術開発、②タイ政府が進めるパーム油由来のバイオディーゼル燃料政策と整合を持たせたパーム油産業のゼロエミッションに向けた社会実装方技術開発、などです。

2019年10月、藤野教授がタイに出張され、チュラロンコン大学をはじめとしたパートナー研究者との調整やタイから我が国へのODA申請手順を確認しました。その結果、タイ側機関の手続き締切が9月中であることが判明し、今年度の申請は時間切れとなってしまいました。

2019年11月27日(水)に第3回研究会を行い、左記顛末のメンバーとの共有化及び参加企業メンバーの研究開発進捗状況を確認し、2020年度の申請を確実にすべく、研究開発やパートナー研究者との調整などに鋭意取り組んでいます。



第3回研究会会場風景(挨拶する高木本研究会代表)

AI時代の画像処理技術研究会

代表：島村 徹也(大学院理工学研究科・教授) 事務局：清原 一人(産学官連携コーディネーター)、日下 明美

本研究会は機械学習、ディープラーニングなどの高度情報処理が可能となってきた第3次人工知能(AI)ブームを背景に、情報・画像処理分野での保有技術を深化させ、社会および産業界のニーズに貢献す



第2回研究会

ることを目的として2018年に設立されました。2019年度は7月8日の上期講演会に引き続き、2020年2月4日(火)に《働き方改革：事例に学ぶ》と副題を掲げて、効率化、省力化の事例を集めて下期講演会を開催しました。企業から、画像解析・IoT・AIを活用したシステムの導入事例を5件と、大学のAI研究の最新モデル3件の計8件の講演をお願いしました。企業の事例発表はパレット荷下ろし作業、画像解析による省力化など、最新のAI活用の事例報告が相次ぎ、大いに参考になったと思われます。

大学側の画像ないし音声に関するAI最新技術は今後の情報技術を占うものとなりました。講演会の参加人数は49名を数え、過去最多となりました。講演会終了後に設けた名刺交換を兼ねた交流会も過去最多の参加となり、予定時間を大幅に超えて活発な情報交換が行われました。「AI時代の画像処理技術研究会」は今後も同様に各種の講演を通して技術の深化を図っていく予定にしています。これまで参加されていない方もお誘いあわせの上、ご参加ください。

「埼玉大学産学官連携協議会研究会報告」

創エネ・蓄エネ技術研究会

代表：白井 肇(大学院理工学研究科・教授) 事務局：清原 一人(産学官連携コーディネーター)、日下 明美

地球規模での気候変動対策として再生可能エネルギーの活用が望まれています。本研究会は創エネ、蓄エネ分野での保有技術を深化させ、社会および産業界のニーズ解決に貢献することを目的に2018年度に設立されました。2019年度は6月28日の上期講演会に引き続き11月29日(金)に《再生可能エネルギーの活用とエネルギーマネジメント》と副題を設けて、埼玉県先端産業プロジェクトの取り組みや、企業における再生可能エネルギーの活用について8件の講演を実施しました。スマートハウスや、AI(人工知能)を用いた最新のシステムによるエネ

ギーマネジメントについて的一端を把握することができました。参加は45名で、毎回増える参加者が関心の高さを物語っています。名刺交換を兼ねた講演会終了後の交流会では埼玉大学創立70周年記念のオリジナルビールが振る舞われ、活発な意見交換が行われました。

一方、講演会とは別に、研究機構棟ベランダに太陽光発電パネルを設置し、本研究会メンバーの東北大白方教授の発明によるMn(マンガン)系Liイオン蓄電池とLED照明を組み合わせた植物工場ミニシステムを構築し、同蓄電池の安全性についての実験を継続しています。この実験に

よりMn系蓄電池の安全性が高いことを実証しています。

「創エネ・蓄エネ技術研究会」は2020年度も様々な取り組みを継続していく予定です。これまで参加されなかった方もお誘いあわせの上、ご参加ください。



第2回研究会

AI活用研究会

代表：大久保 潤(情報メディア基盤センター・准教授) 事務局：笠谷 昌史(産学官連携シニアコーディネーター)、日下 明美

本研究会は、所属する会員が将来的にわたり人工知能(AI)を活用した企業変革の最前線を走っていくために、AI・機械学習についての基本的な事項を幅広く知り、活用のための知見を深めることを目的として設立されました。2019年9月19日(木)に本年度3回目の研究会(通算で第4回目)を実施しました。なお、2020年3月3日(火)に3回目(通算で第5回目)の研究会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスへの感染対策のためにやむなく延期と

いたしました。

9月に実施された研究会では、実際に機械学習系のシステムを構築してサービス提供をしている企業の方をお招きし、現場での実践的な話題や注意点など、有意義なお話をいただきました。また、AI活用に関するケーススタディについてもおこない、参加企業2社様からご提供いただいた課題について、参加者全員でのグループディスカッションおよび全体討論をすることにより、今後活かせる知見を得ました。

最終年度となる次年度は、これまでに引き続いて機械学習の活用に関する話題提供をするとともに、グループに分かれて実習形式でプログラムを作成し、AI活用に結びつく知見と技術を得るための構成で進める計画です。その準備として、これまでのケーススタディに代わり、3月の研究会ではプログラミング言語Pythonを利用した機械学習に関する演習を予定していました。今後、この演習を実施した上で実習形式へと進む予定です。



ケーススタディ(グループディスカッション)



ケーススタディ(全体討論)

新規研究会テーマを
随時募集中です

埼玉大学産学官連携協議会では、本会会員および埼玉大学教職員等が協同し、研究会活動を行うことを支援しております。「具体的な技術課題解決への研究活動」から「研究課題の予備調査」、「公的研究費獲得による産学官連携共同研究のための先行研究」等にご活用いただけます。ご興味のある方は事務局までご連絡をお願いいたします。



会員企業訪問記

学生リポーター

吉沼 優輝

大学院理工学研究科
化学系専攻 1年

千葉 康太郎、齊藤 梨奈

工学部 応用科学科 4年

「塑性加工の常識を変えます」
確かな技術力と発想力で“品質世界一”へ

株式会社井口一世



COMPANY PROFILE

企業名：株式会社井口一世
所在地：埼玉県所沢市所沢新町 2553-3 (所沢事業所)
設立：2001年4月26日 資本金：9,500万円
代表者：代表取締役 井口 一世
事業内容：精密機器の部品製作販売、各種精密機器の開発、ソフトウェア開発等

Interview

01

概要

株式会社井口一世は所沢市の閑静な住宅街に位置する金属加工メーカーです。創業は2001年で社名は社長のフルネームです。

同社の特徴は加工技術の高さにあります。金属製品の加工は金型を用いることで安定した品質の製品を大量に製造することが主流です。しかし金型を用いることで金型の在庫管理に膨大なコストがかかります。同社は金型レスにすることで設計変更に対応し、少量生産品のコストを大幅に抑えて製造しています。また、従来は材料を工作機械で削って作っていたような複雑な形状の金属製品を切削レス加工で製造しています。切削レスで製造することで材料の歩留まり率を向上させ加工を短時間で行うことができます。

井口一世はこのような世界最高水準の加工技術で多様なニーズに応え続けている企業です。



鋭の機械に、それまで職人の経験則が主だった暗黙知を数値化、さらに独自のデータベースにして組み込んでいます。失敗したケースも貴重なデータとして管理することで、最適な条件で機械を動かせるよう日々調整を行っています。こうすることで機械の性能をできるだけ引き出し、加工時の誤差を他社より格段に小さくすることができます。

“データの引継ぎさえすれば後継ぎはいらない”とのお話にもあった通り、データを管理することで職人に頼りきりだった部分を明確にし、引き継ぎも簡素化できます。



した。ほかにも井口社長から、“新たなマーケットを作れば競合他社は不在”とのお話を伺いました。多くの人が思いつかないような独創的な発想力で新しいビジネスを生みだしていることがわかりました。その経営姿勢が、「第1回渋沢栄一ベンチャードリーム賞奨励賞」受賞をはじめ「新・ダイバーシティ経営企業100選」「地域未来牽引企業」等、数々の受賞歴につながり、高い評価を得ていると感じます。



おわりに

企業訪問を通じて、業界の常識にとらわれず新たなモノづくりに取り組む同社の考え方を知ることができました。IoT化が進む中でも人の創造力を大切にされていると感じました。またインタビュー、工場見学時含め井口社長、社員の方々が気さくな雰囲気の中質問に答えていただき、作業中も手を止めて挨拶、ご説明いただくなど、大変貴重な体験をすることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

Interview

03

学生目線

同社のモットーは“なんとかなる”です。社員の方々とお話しさせていただく中でどんな無理難題にも明るく前向きに取り組んでいることを強く感じま

Interview

02

TOPICS

ビッグデータ×最新鋭機械

同社の高精度板金加工技術を支えているのがビッグデータの活用と加工機械です。欧州から買い付けた最新





会員企業訪問記

学生リポーター

小林 海登、鈴木 雄貴
工学部 機械工学科4年
大豆田 駿、篠原 調
工学部 機械工学・
システムデザイン学科2年



「埼玉から日本を
代表するクロスメディア
総合提案カンパニー」へ

株式会社デジタルベリー

COMPANY PROFILE

企業名：株式会社デジタルベリー
所在地：埼玉県さいたま市浦和区高砂2-13-19 K2ビル5階
設立：2004年8月 資本金：1億円
代表者：代表取締役 赤羽根 康男
事業内容：デジタルカタログ、ホームページ、印刷物制作

Interview

01

概要

株式会社デジタルベリーはWeb制作、デジタルカタログ、印刷物といったクロスメディアを扱う企業で埼玉発のベンチャー企業で、埼玉大学ホームページなどを手掛けています。特にデジタルカタログに関してはその名称を広めたパイオニア企業として業界トップの業績を収めています。創業した2004年以来15期連続で売り上げを増やしており、当時は100万円だった資本金も現在では1億円まで成長しています。



Interview

02

TOPICS

埼大卒の経営者

代表取締役の赤羽根康男社長は埼玉大学教養学部のOBで、5年間一般企業に勤めたのち起業しました。心がけていることは、相手の求める製品の形にすること、有言実行だそうです。確実に依頼にこたえ信頼を勝ち取ったことが、15年連続の売り上げ増につながりました。目標は100年企業であり、目下の目標は株式上場です。

事業展開

起業当時から行なっているWeb制作では埼玉県内TOPの実績を収めており、産学官問わず様々な業種のホー



ムページを制作しています。デジタルカタログに関しては制作代行業界No.1の実績を収めており1200社以上のカタログを制作してきました。2012年に印刷事業を始め、今年山形No.1の印刷会社とも提携しました。これら3点をクロスメディアとして取り扱うことでホームページ、デジタルカタログ、印刷物を一貫し統一感のある仕上がりにすることが可能です。近年では若者を対象としたメディア展開として漫画や動画を手掛けており、埼玉大学ホームページ掲載の空撮動画も制作しています。



5つの貢献と社員の育成

経営理念は「お客様」「社員」「業界」「地域」「雇用」の5つへの貢献です。中でも力を入れているのが社員への貢献で、社員の成長が会社の成長に通じるという考えのもとどこへでも通じる人材育成を目標にしているそうです。社員育成の成果として、谷本浩子さんがビジコンinさいたま2019にて女性起業家賞・オーディエンス賞を獲得されました。

Interview

03

学生目線

社員の方からの業務説明の際は終始笑顔で対応いただき活力のある職場というイメージを受けました。説明も実例を用いた丁寧な説明で先輩後輩のタグで製品制作に臨んでいるといったところから、仕事が身につけやすい環境整備がされていると感じました。

赤羽根社長はとても気さくな方で起業、経営するにあたってのお話を多く聞くことができました。インタビューの際は、相手の求めている内容に対する把握能力が高い印象を受けました。その秘訣をお聞きしたところ、学生時代の趣味だった旅や起業するにあたって様々な方と交流したことにより、そういったセンサーが鍛えられたとお聞きしました。その様な姿勢が事業拡大に繋がったと感じ、私達も今回の経験を今後の糧にしたいと感じました。

おわりに

このたびデジタルベリー様の訪問では、様々なメディアの制作現場をお見せいただき、赤羽根社長からは会社概要から起業、経営する上での考えまで様々なお話をお聞きすることができました。お忙しい中大変貴重な体験をさせてくださった関係者の皆様に、心よりの感謝を申し上げます。

新会員紹介

01

ソマール株式会社

当社は国内外有力化学メーカーのすぐれた製品や技術を扱う化学専門商として出発し、その後、化学品の開発・製造といったメーカー機能も有し、国内外の電子・電気、自動車、製紙、更には食品に至る幅広い業界と深く関わってまいりました。近年は建築業界、またバイオマテリアル分野へも、当社独自の技術を生かすべく、果敢に挑戦しています。

- ① 化学品および食品素材の製造販売
および卸売販売
- ② 東京都中央区銀座4-11-2
- ③ 03-3542-2151
- ④ 1948年(昭和23年)2月
- ⑤ 代表取締役社長 曾谷 太
- ⑥ 常に知恵を生かしながら、真に社会に
貢献できる企業となることを目指して
います



草加事業所外観

02

株式会社倉本産業

インク・粘着剤の開発・製造から印刷加工までの、自社一貫生産可能な工場設備を持ち、工業製品用の部品から一般市場用の製品等、あらゆるシーンに向けて粘着ラベルを供給しています。全て自社でサポートできる一貫体制によって、細やかなお客様のニーズにあわせて製品製造を実現できる、その「自由度」と「小回りの良さ」が大きな強みです。

- ① ラベル・ステッカー、耐熱防護服、
交通安全製品の開発・製造・販売
- ② 東京都豊島区東池袋3-7-4
- ③ 03-3989-6700
- ④ 1953年(昭和28年)10月22日
- ⑤ 代表取締役社長 倉本 朝晴
- ⑥ お客様のニーズに沿ったモノづくり
への挑戦



例えばこんなグラフィック表現を、粘着材料から印刷までトータルでご提案します

03

三菱マテリアル株式会社

当社は社会ニーズに応じて、銅やセメント等の基礎素材から自動車や家電等に使われる機械／電子材料・部品、それらを作るための道具(工具)も製造・販売し、さらにリサイクルも行う「総合素材メーカー」です。そのうち、スマートファクトリー推進センターは、当社グループにおける生産のIoTやAIを用いたデジタル・自動化を一層推進すべく2019年9月に設立されました。

- ① セメント、金属、加工、電子材料、アルミ、
その他(環境リサイクル/再生可能エネルギー)
- ② 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-600
(スマートファクトリー推進センター所在)
- ③ 048-641-4528(センター代表)
- ④ 1950年(昭和25年)
- ⑤ スマートファクトリー推進センター所長
島 裕和
- ⑥ 人と社会と地球のために



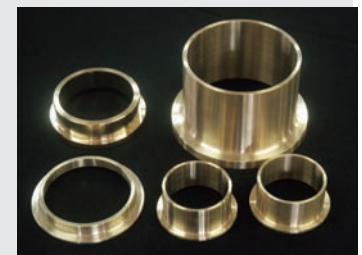
三菱マテリアル株式会社 さいたまオフィス新館建屋

04

三芳合金工業株式会社

当社は特殊銅合金素材の製造メーカーです。当社の銅合金はハイテク産業から一般産業機械、航空機をはじめ、核融合炉、粒子加速器、レース用エンジン部品としても活用されています。溶解、鍛造、押出、熱処理、引抜、機械加工等の設備を持ち、一貫生産による多品種、短納期を実現しています。また、要望に応じた新素材開発も行っています。

- ① 特殊銅合金の製造・開発
- ② 埼玉県入間郡三芳町上富508
- ③ 049-258-3381
- ④ 1963年(昭和38年)8月20日
- ⑤ 代表取締役 萩野 源次郎
- ⑥ 「誠実一路」でお客様の「困った」に
応えるものづくり。地域や社員に
愛される企業。



アルミニウム青銅 航空機部品

05

三桜工業株式会社

当社は1939年の創業以来、80年間着実な成長を続けてまいりました。1963年に自動車用特殊配管製造を開始、国内はもとより、世界22ヵ国に製造事業会社を設立稼働させてグローバルサプライヤーの地位を獲得するに至りました。技術と人財を育てるという三桜の企業理念を事業活動の軸として、これからもステークホルダーの皆様への新しい価値の提供に邁進致します。

- ① 自動車用の各種チューブや集合配管
などを製造
- ② 東京都渋谷区恵比寿1-23-23
- ③ 03-5793-8411
- ④ 1939年(昭和14年)3月24日
- ⑤ 代表取締役社長 竹田 玄哉
- ⑥ 経営全領域にわたる絶えざる改革



新事業開発センター

DATA ▶▶ ①事業内容 ②本社所在地 ③電話 ④設立年月日 ⑤代表 ⑥社是またはモットー

06 シグマ光機株式会社

当社は1977年創業のレーザ用光学機器メーカーです。「光学・機械・システム」3つの技術をワンストップで提供できる独自の生産体制を活かした事業展開により、研究開発、産業分野向けの光学機器メーカーとして国内トップブランドの地位を確立しました。

グローバル市場への積極的な展開も行い、最高品質・高付加価値製品を提供し続けています。

- ① レーザ用精密光学機器の設計、製造及び販売
- ② 埼玉県日高市下高萩新田17-2
- ③ 042-985-6221
- ④ 1977年(昭和52年)4月
- ⑤ 代表取締役社長 近藤 洋介
- ⑥ 「感謝」「挑戦」「創出」



当社製品群の一部

07 セブンシックス株式会社

セブンシックスではレーザ・通信機器の輸出入販売から光・RF関連の中古品販売、さらにはメーカーとして光源や計測システムなど光学機器の自社開発を行っています。問題解決・提案型の営業を基軸とし、さらに大学・研究機関の協力による製品・アプリケーション開発に取り組み、人・もの・技術による総合的ソリューションを提供します。

- ① レーザ関連・光通信関連・半導体関連・RF関連・パイオ関連等の部品・機器類の輸出入販売、光・電子機器の研究・開発・販売、光・RF関連中古品のインターネット販売
- ② 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 17階
- ③ 03-6721-1077
- ④ 2007年(平成19年)4月19日
- ⑤ 代表取締役社長 羽根 洋介
- ⑥ think next.



自社開発によるファイバレーザ

08 株式会社川島製作所

1912年(明治45年)の創業以来100年を超える歴史の中で、私たち川島製作所は常に挑戦し続けてまいりました。日本初の包装機の開発、主に食品・製菓業界のお客様のニーズを汲んだ製品の提供、マーケットの開拓、徹底したサービスの追求。先人たちから受け継いだ情熱を絶やすことなく、包装機業界のリーディングカンパニーとして成長を続けています。

- ① 自動包装機の製造、販売およびライン・システムの設計施工
- ② 埼玉県草加市谷塚上町434
- ③ 048-925-1573
- ④ 1951年(昭和26年)12月4日
- ⑤ 代表取締役社長 伊早坂 嗣
- ⑥ そこまでやるか、をつぎつぎと。



新規会員をご紹介ください

- 埼玉大学産学官連携協議会入会メリット -

研究会活動に参加できます

「防災ビジネス研究会」
「アブラヤシバイオマス利活用研究会」
「AI時代の画像処理技術研究会」
「創エネ・畜エネ技術研究会」
「AI活用研究会」が活動中です。
新規研究会テーマも募集中です。



埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力発信する機会
学内合同企業説明会に参加できます。
(年1回)



産学交流会(テクノカフェ)に参加できます

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場を提供します。



埼玉大学科学分析支援センターが活用できます

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金(規定1/2)でご利用いただけます。
(随時)



最新情報をお届けします

・ニュースレター(年2回発刊)
・インフォメーションメール配信会員企業・団体に有益な情報や研究シーズ紹介、会員企業紹介、イベント情報等を提供します。



お問合せはこちらまで

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
(オープンイノベーションセンター内)
電話：(048)714-2001 Fax：(048)858-9419
E-mail：s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp
URL：http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/

2020年度 オープンイノベーションセンター

産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所	
4 28(火)	第1回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	ソニックシティ	★
5			
6 1(月)	第2回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	ソニックシティ	★
	第21回定期総会・産学官連携事例発表・交流会	ソニックシティ	★
7 14(火)	JST首都圏北部4大学(4u)発 新技術説明会	JST(東京本部別館)	
8 27(木)～28(金)	イノベーション・ジャパン2020	Aichi Sky Expo	
9			
10 15(木)～16(金)	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展	ソニックシティ	
	第21回埼玉大学産学交流会 テクノカフェ	埼玉大学	
11 21(土)～23(月)	第71回埼玉大学むつめ祭	埼玉大学	★
12	第3回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	ソニックシティ	★
1			
2	彩の国ビジネスアリーナ2021(産学連携フェア)	さいたまスーパーアリーナ	
3	合同企業説明会	埼玉大学	★

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官連携協議会 第21回 定期総会

埼玉大学産学官連携協議会の定期総会を開催いたします。当協議会の益々の発展のため、多くの皆さまのご出席をお願いいたします。

日 時	▶ 2020年 6月1日 (月) 13:30～18:00(予定)
会 場	▶ ソニックシティビル4階市民ホール
議 題	▶ 2019年度活動報告および決算報告について／2020年度活動計画(案)および予算(案)について／その他
講 演	▶ (調整中)
講 師	▶ (調整中)
交流会(懇親会)	▶ 於 大宮パレスホテル1階 会費1,000円(予定)

※申込方法等、詳細は、別途ご案内を郵送いたします。